

日本農業気象学会2009年度第3回理事会議事録

日 時：2009年9月15日（火）15:00～16:00

場 所：東京大学駒場 I キャンパス121号室（合同大会 A 会場）

出席者：岡田、青木、皆川、蔵田、皆巳、町村、菅谷、小沢、朝倉、北野、黒瀬、五十嵐、
星、大野、吉本、富士原、平野、大政、松岡

欠席者：小林、後藤、田中

[議事録確認]

1. 2009年度第2回理事会議事録報告（資料1）

- ・表題の「議事次第」を「議事録」に修正の上報告の通り承認された。

[報告・連絡事項]

1. メール会議の結果（学会賞審査体制について）（資料2）

- ・概ね賛成であったことが報告された。これに従い、審査体制を青木副会長、総務理事、庶務理事で具体化する。

2. 2010年全国大会の進捗状況（資料3, 資料4）

- ・資料の通り報告された。
- ・本部からの予算措置について、25万円を支出することが決定した。なお、今後は合同大会の有無にかかわらず同程度額を支出すること、ならびに、大会の決算が黒字の場合は、支出額の返済を求めることが合意された。

3. 企画講演委員会報告（2010年全国大会のシンポジウムについて）（資料5）

- ・シンポジウムの主催者を大会実行委員会とする。
- ・ミニ公開講座について、内容規模から考えて名称から「ミニ」を外す意見が出されさらに検討することになった。

4. 「農業気象」バックナンバー電子化作業の進捗（資料6）

- ・「農業気象」60巻には特別号が存在するのでこれも電子化するべきとの意見が出され、特別号の内容を確認すると共に対応策を検討することになった。

5. その他（資料6）

- ・鳥取大学乾燥地研究センターより、研究拠点に認定された旨の通知と要望書発出に対する礼状が送付された。
- ・日本地球惑星科学連合における日本農業気象学会からのプログラム委員に、鳥谷均会員を選任した。
- ・科学研究費補助金の「時限付き分科細目」について意見提出が求められていることについて、理事会メンバーから新テーマの提案を受け、提案がされた場合にメール審議により判断することとなった。
- ・日本農工学会の次期代議員として、細井文樹会員（正会員代議員）と青木正敏会員（国際会員代議員）が選出された。
- ・学会誌について、以下の通り報告された。

(1) 編集状況：

65巻3号(2009.09)は、英語論文1編，和文論文4編，和文資料1編の合計6編掲載
65巻4号(2009.12)は、英語論文7編掲載予定

66巻1号(2010.03)は、英語論文4編、英語短報2編掲載予定の合計6編掲載予定
審査中の論文は、通常投稿8編、ISAM 投稿7編の合計15編

(2)「農業気象」と「生物と気象」に関する取り組みについて

前者については、ISI 登録を目指して e-journal 化、英文誌化、海外出版社への出版委託について経費等の点から検討中である。後者については、冊子化の方向で、掲載すべき内容、編集委員会の強化、支部の関わり等の点から検討中である。

- ・学会賞審査委員会より、審査委員2名が授賞候補者に推薦されたので、次点の者と入れ替えることが報告された。
- ・表彰担当理事より、進捗状況が下のとおり説明された。

(1)学会賞表彰：

学会HPなどを通じ候補者の公募を行い9月7日締め切った。その結果、学術賞候補に3件、普及賞候補に1件、奨励賞候補に1件の推薦(それぞれ1名)があった。功績賞と論文賞への推薦はなかった。

学術賞および普及賞の候補者については、書類等の確認の上9月11日学会賞審査委員会小林委員長へ書類を送付した。審査の期日は11月30日としている。

論文賞と奨励賞については、10月中頃を目途として別途編集委員会に候補者の推薦を依頼している。

(2)永年功労会員表彰：

学会HPなどを通じ候補者の公募を行い9月7日締め切った。その結果、関東支部より2名、中国四国支部より1名の推薦を受けた。書類および資格の確認、各支部を通し本人の了解を確認の上、9月11日永年功労会員表彰審査委員会及川委員長へ書類を送付した。審査の期日は11月16日としている。

(3)投票：

審査結果の通知を受けた後、支部長・理事・評議員による投票を実施する予定である。

[審議事項]

1. 農学賞候補者の選出について(資料7)

- ・候補者の選出は理事会で審議して決定することが確認された。

2. その他

なし

次回理事会

2009年12月8、9、11日を候補に検討する。